

平成30年7月豪雨災害に係る災害復旧事業の進捗状況について

〔令和2年6月19日〕
林業課
ため池・農地防災担当

1 要旨

農地・農業用施設及び林道施設災害復旧事業の令和2年5月末時点での進捗状況について報告する。(令和2年度末 発注計画：農地・農業用施設，林道施設の全箇所)

2 進捗状況

(単位：箇所)

施設名	実施箇所※	発注済			工事完了		
		4月末まで ①	5月 ②	5月末まで ①+②	4月末まで ①	5月 ②	5月末まで ①+②
農地・農業用施設	4,456 〈4,924〉	2,123 (47.6%)	76	2,199 (49.3%)	1,092 (24.5%)	58	1,150 (25.8%)
林道施設	314 〈315〉	193 (61.5%)	7	200 (63.7%)	132 (42.0%)	3	135 (43.0%)

※ 実施箇所数は、自力復旧などの理由により申請を取り下げた(廃工)箇所を除く。(令和2年5月末現在)
()は工事費40万円以上で、国庫補助事業として採択された箇所数。

3 現状

工事発注の本格化に向け集中的に作業を進めていたが、新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策としてテレワークなどに急遽取り組んだため、テレワークに必要なセキュリティなどの環境整備が間に合わず、設計書の積算作業や入札公告のシステム登録作業などに遅れが生じ、進捗に影響が出ている。

4 工事の加速化に向けた県の取組

工事着手が遅れている市町の災害復旧工事(農地・農業用施設)のうち、施工監理の負担が大きい一部の箇所を県で受託し、工事発注から完了までを実施する。

また、土木建築局と連携し、工事受注状況や今後の発注計画などを情報共有し、進捗が遅れている地域で、災害復旧工事が優先されるよう発注の調整を行っている。

併せて、農業者との調整が円滑に行いやすい、地域に精通した工事業者の確保に向けた随意契約等の積極的な活用や、地域外の業者の参加を促すための必要な経費(旅費等)の計上に取り組みよう強力で働きかけを行っている。

5 今後の見通し

令和2年度中にすべての箇所の工事着手を目指しているが、一部の市町では、工事の完成が令和3年度までかかる見通しを示されているため、引き続き、市町と連携した実情に応じた対策を講じ、早期復旧に努める。

また市町においては、通常業務を行う執務室とは別に作業スペースを確保するなど、執務環境を整えることで、新型コロナウイルス感染症による災害復旧工事への影響を抑え、進捗の回復に努めている。